令和6年12月12日（木曜日）

予算決算委員会総務分科会

第1委員会室

出席委員

井川一善、妻鹿幸二、阿野れい子、有馬剛朗、
三輪敏之、仁野央子、三和 衛、下林崇史、
坂本 学

【総務委員会（消防局）の審査】

開会 10時16分

消防局 10時16分

送付議案（説明省略）

- ・議案第130号 令和6年度姫路市一般会計補正予算（第6回）

質疑 10時17分

（質問）

本補正は、播磨圏域連携中枢都市圏の5市6町で協働運用する播磨姫路救急搬送システム（HEARTS）の更新経費として、令和7年度にかけて6,200万円を限度額とする債務負担行為を追加設定しようとするものであり、5市6町で事業費を案分した本市の負担額は約4,300万円になるという説明があった。

令和3年度のHEARTSの導入時、構築運用費用が2,369万円程度であったのに対し、更新経費がかなり高額になっている。更新に併せて様々な機能を追加しようとしており、また、当時とは状況が異なるため一概に比較することはできないが、もう少し詳しく説明してもらいたい。

（答弁）

現行システムの応札価格がかなり低かったことに加えて、昨今の物価高騰や傷病者情報の電子化機能を付加したことなどから更新経費が高額となったものである。

ちなみに、HEARTSの更新整備は播磨圏域連携中枢都市圏の事業であり、システム構築費については約8割が特別交付税措置の対象となるため、本市の実質的な負担額は約680万円になる。

更新経費だけを見ると高いと感じるが、HEARTSと同様のシステムに比べると安価であり、費用対効果を考えると、かなり安いのではないかと考えている。

（質問）

コロナ禍もあり、HEARTSには課題も多いと聞いたことがある。導入の目的である搬送困難事案の解消等において、どれぐらいの効果が出ているのか。

（答弁）

搬送患者の受入れについては、各医療機関の実績や地域全体ではどのように分散しているかなど、HEARTSによって蓄積されたデータを各医療機関と共有し、少しでもスムーズに受け入れてもらえるよう取り組んでいる。搬送困難の解消には至っていないものの、各医療機関の受入れ人数が増加するとともに、救急受入れ要請に対して受け入れた割合を表す応需率が上昇している。

まだ新型コロナウイルス感染症の影響がなくなっていないため、夏場はコロナの再流行や猛暑の影響から救急搬送件数が多く、搬送困難事案の割合が高くなってしまったが、9月以降は平均で約5%まで低下している。今後、医療機関のコロナに対する考え方が改善していくと、年間を通じて搬送困難事案の割合が低くなっていくので、徐々に効果が出てきていると思われる。

HEARTSの更新整備により、医療機関と傷病者の情報を早期に共有する仕組みをつくり、引き続き、搬送困難率の低減や搬送先の分散、現場滞在時間の短縮等に取り組むと考えている。

（質問）

HEARTSの更新は、救急搬送にさらに力を入れるためパワーアップを狙ったことなのか、それとも更新せざるを得ないからなのか。

（答弁）

5年間の長期継続契約が終了するため次の契約を結ぶ形になるが、この機会にいろいろな効果を期待して機能強化を図ろうとしている。

1つに、傷病者情報については、これまで救急隊員が医療機関に電話して口頭で伝えていたが、データを電子化し医療機関へ送信できるようになり、より正確な情報伝達が可能になる。また、医療機関による受入れの可否の返信や、初期治療の準備等も早くできるようになる。

もう1つに、HEARTSと事務用のシステムを連結させることで、帰署後の報告書作成等の事務負担が

軽減されて、次の救急要請に対応しやすくなる。

(要望)

HEARTSの更新によって、救急業務の課題解消により一層努めるとともに、事務の効率化も進めてもらいたい。

消防局終了 **10時29分**

【総務委員会（政策局、総務局、財政局、選挙管理委員会事務局）の審査】

選挙管理委員会事務局 **14時30分**

送付議案（説明省略）

- ・議案第129号 専決処分の承認について（令和6年度姫路市一般会計補正予算（第5回）

質疑 **14時31分**

質問なし

選挙管理委員会事務局終了 **14時32分**

【総務委員会（デジタル戦略本部）の審査】

【総務委員会意見取りまとめ】

意見取りまとめ **15時12分**

- ・分科会長報告について
- 正副分科会長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了 **15時13分**

閉会 **15時13分**